

授業科目名	看護教育			担当教員	阿部 オリエ	
開講年次	4年後期	セメスター	8	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	看護学教育の歴史的変遷を踏まえ、その目的、達成に向けた看護教育制度および教育課程について基礎的な理解を深め、看護学教育の今日的課題について考察する。					
到達目標	1. 看護学教育を学ぶ意義について理解できる 2. 看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題について説明できる 3. 看護教育制度の歴史的変遷を理解し、社会情勢との関連において説明できる 4. 看護教育の仕組みと課題を理解し、看護学を大学で学ぶ意味について説明できる 5. 看護学教育を具体化するためのカリキュラムの概要について説明できる 6. 看護学教育の今日的課題について考察し、今後の展望について自己の考えを述べるができる					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、看護の統合科目として位置づけられている。授業は、今まで学んできた看護教育を客観的に捉え直すことでメタ認知を養う機会となる。また、これから受けるであろう看護職になった後の教育に対して考察することで、看護の専門性を探究する機会にもなる。これらは、自分自身の自己教育力を刺激し、育成することにつながっている。今後、看護専門職として学習するとはどういうことなのか、看護専門職としてのありようについて自分自身で深く考える機会でもある。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		◎			○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護教育学を学ぶ意義 看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題 (1)	講義	予習：看護職は専門職といえるのか、自己の考えをまとめる	60分	阿部	
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題 (2)	講義	予習：新人看護師に対する支援がどのように行われているか調べる	60分	阿部	
3	看護教育制度の歴史的変遷 (1)	講義	予習：日本の看護教育について、いつ、どこで、何を目的に始められたのかについて調べる	60分	阿部	
4	看護教育制度の歴史的変遷 (2)	講義	予習：看護大学が増えた理由について、自己の考えをまとめる	60分	阿部	
5	看護教育の仕組みと課題 (1)	講義	予習：看護基礎教育における課題について、自己の考えをまとめる	60分	阿部	
6	看護教育の仕組みと課題 (2)	講義	予習：最も興味のある国の看護教育制度について調べ、自己の考えをまとめる	60分	阿部	

7	看護学教育を具体化するためのカリキュラムについて	講義	予習：カリキュラムとは何かについて調べる 復習：本学カリキュラムの良い点と改善点について、自己の考えをまとめる	90分	阿部
8	看護学教育の今日的課題と今後の展望について考える レポート作成に向けてのフィードバック	講義 演習	予習：課題レポートのテーマについて考え、必要な文献・資料を収集する 復習：課題レポートの作成を行う	60分	阿部
先行履修科目					
テキスト	看護行政研究会編：看護六法 平成31年版. 新日本法規, 2019.				
参考文献	開講時、文献リストを配布する。				
評価方法	授業への参加度・予習（30%）、課題レポート（70%）により総合的に評価する				
教員等の実務経験	看護師の臨床経験があり、看護学、教育学を探究している教員が、その経験を活かして、看護の統合科目である『看護教育』について講義を行います。				
メッセージ	看護と教育がどのように関係し合っているか、皆さんは考えたことがありますか？看護教育とは、いつ、どこで、誰が、何の目的で始めたのでしょうか？看護教育が始まる前に、看護は存在していなかったのでしょうか？この授業では、皆さんがこれまで学習してきたこと、これから学習していくことを踏まえ、看護教育の歴史的変遷、現在、将来的な展望について考察を深める授業となります。よって、選択科目ではありますが、看護学生として、皆、受講してもらう必要がある科目と考えています。看護は学習することで成立します。学習とは、専門職である以上、生涯かけて行う営みです。現在だけではなく、今後、看護職としてどのように学習していけばよいかを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。				